【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【公開番号】特開2022-155240(P2022-155240A)
【公開日】令和4年10月13日(2022.10.13)
【年通号数】公開公報(特許)2022-188
【出願番号】特願2021-58648(P2021-58648)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月6日(2024.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定条件が成立することに基づいて当否判定を行う当否判定手段と、
該当否判定が行われる度に決定される変動時間に亘って識別情報の変動を実行した後、当該当否判定の結果を確定表示する識別情報表示手段と、
当該当否判定が行われる度に決定される演出態様に従って演出図柄を変動させる変動演出を実行する変動演出実行手段と、を備え、
前記演出態様として、前記演出図柄の変動を所定時間実行した後、疑似連態様が仮停止する第１疑似変動を所定回数行った後、前記決定される変動時間が終了するまで前記演出図柄の変動を行う第２疑似変動によって構成される疑似連演出を特定する演出態様が少なくとも含まれる遊技機であって、
前記第１疑似変動において前記疑似連態様が仮停止することに関連した疑似連態様表示演出が所定の演出表示パターンに従い実行されるとともに、前記第２疑似変動において特別演出が実行可能とされ、
前記演出表示パターンとして、
対象となる第１疑似変動においてリーチ表示を行うことなく前記疑似連態様を仮停止することを内容とした第１表示演出パターンと、
対象となる第１疑似変動において前記リーチ表示を行った後、前記疑似連態様を仮停止することを内容とした第３表示演出パターンと、を備え、
前記第１疑似変動において前記第１表示演出パターンに従って前記疑似連態様表示演出が実行された後、前記第２疑似変動が実行される第１疑似連変動実行態様と、前記第１疑似変動において前記第３演出表示パターンに従い疑似連態様表示演出が実行された後、前記第２疑似変動が実行される第２疑似連変動実行態様と、を具備し、
前記第３表示演出パターンが実行された場合は、前記第１疑似連変動実行態様が実行された場合よりも前記特別演出が実行される可能性が高く、
１回の疑似連演出において、一度、前記第３演出表示パターンに従い前記疑似連態様表示演出を実行した後は、前記疑似連態様表示演出を実行する場合に前記第３演出表示パターンに従い前記疑似連態様表示演出が実行されることを特徴とする遊技機。